

2 学期始業式講話

おはようございます。皆さんが、夏休みを安全無事に過ごし、大きな事故もなく、元気に登校したようですので、安心しています。

CM総合研究所が発表している企業別CM好感度ランキングでは、「三太郎」シリーズと白犬が出てくる「白戸家」の携帯電話会社が1位、2位であり、コミカルなシリーズもののCMが視聴者の印象に残りやすいようです。

「三太郎」では桃太郎、浦島太郎、金太郎に加え、かぐや姫・乙姫や鬼、花咲爺さんなどが登場するなど、昔話でお馴染みのキャラクターが勢ぞろいしています。同シリーズを手掛けた電通のクリエイティブディレクターは「最初に『新しい自由を』という依頼のコンセプトを聞き、既成概念を壊すという意味だと思った。昔話で、誰もが知っている3人の太郎が友達だったらと考えた。」と述べていました。今まさに、新型コロナウイルス禍の中で、従来にとらわれない新たな発想が求められていると思うのですが、いかがでしょうか？

さて、かつて、JAXAの宇宙飛行士選抜試験で「あなたは桃太郎と浦島太郎のどちらが好きですか？」という質問が出たそうです。桃太郎には、鬼退治という明確なミッションがあります。それを実現するために、自分の力を補うイヌ・サル・キジとチームを組みます。目標に向かってしっかりと突き進み、合理的です。桃太郎は自分を客観視する能力と、リーダーシップとを兼ね備えています。

一方、浦島太郎は深く考えずに亀の誘いで海の中に向かい、接待を受けて竜宮城で楽しみますが、急に帰ると言い出します。そして、開けてはならない玉手箱をもらってきて、しかも開けてしまう無邪気さがあります。考えてみれば行き当たりばったりです。

宇宙飛行士にはどちらが向いているのでしょうか。浦島太郎タイプだそうです。浦島太郎は好奇心旺盛、かつ、予期できない変化を柔軟に受け入れる所があるからだといいます。宇宙では、想定外のトラブルが次々と起こります。それらに柔軟に、かつ、適正に対応していく能力が問われるのです。宇宙飛行士には責任感と同時に、何が起きるか予測できない状況でもそれを楽しめる浦島太郎的要素をもった人が向いているということです。

ところで金太郎は実在説があります。足柄山で熊と相撲をとり、斧を持ち一生懸命働き、母に孝行する元気で優しい子です。成長したのち、足柄峠にさしかかった源頼光（清和源氏3代目）と出会い、その力量を認められて家来となり、坂田金時と名のって、頼光四天王の一人となったといえます。金太郎には他にいくつも伝説が存在しますが、父亡き後母を助けたまじめな青年が出世した成功物語です。

明確な目的を掲げて、果敢に挑戦し、それを実現した桃太郎は、受験生にはあやかりたいヒーローです。金太郎も尊敬できる成功人生です。しかし、私ぐらの年齢になると、海を眺めつつ人生を終える老浦島太郎の穏やかさも捨てがたいものがあります。学生時代は桃太郎、社会人になったら金太郎、引退後は浦島太郎という人生もいいなあと思っはいますが、なかなかそういう風に出るそうもありません。私も今一度自分の人生を見つめ直したいと思っはいます。

皆さんも現状を受け入れつつ、その中でどのような生き方が出来るか考えてほしいと思っはいます。それでは今学期も前向きに、様々な経験を積むよう、しっかり取り組んでほしいと思っはいます。